

未来のつばさ

＼新連載 セカイハヒロイノタビ スタート!／



INDEX

- P.2 2018年度
未来のつばさ自立奨学支援事業
2018年度「未来のつばさ自立奨学支援制度」
楽天生命審査ボランティアの皆様から
書き損じはがきによるご寄付をありがとうございます！
- P.3 新連載！
セカイハヒロイノタビ「どうやら…の巻」
- P.4 子ども達からの感謝のメッセージ
ご支援ありがとうございました！
- P.6 プロジェクト支援事業
2018年度の支援状況をご報告いたします！

Vol. 27
2019.夏

子ども達の未来を守るため!!

わが国では保護者のいない児童、また保護者に監護させることが適当でない児童、つまりは親と暮らせない子どもが約4万5,000人もいます。(平成31年4月、厚生労働省子ども家庭局発表)

日本人口の0.035%で少ないと思う人が多いのが現状ですが、町村が「市」に移行する要件が5万人以上なので、0歳～18歳までの子ども達だけで一つの「市」が出来てしまいそうなほど多いと思うのが私の認識です。

「数値的には微小でも、現実的には多い子ども達」への応援を創立より頑なに守り続けてきた団体が私たちの財団です。社会には困難を抱えた子どもは多く、難病の子ども、心に深い

傷を負った子ども、経済的に困窮する子ども、希望を失った子ども、その中でも親と暮らせない子どもに特化した助成を行う団体は数少ないと思います。

社会的養護を必要とする子どもの自立への一助となるべく、

- ✿ 子ども達の夢と希望を守り
- ✿ 誰かのために役立とうとする勇気を与え
- ✿ 感謝の気持ちを持ち続ける強い心を応援する

小さいけれど温かい支援事業を目指してまいります。子ども達の未来を守るために皆様のご支援を切に望み、皆様の善意の心に感謝申し上げます。



公益財団法人
楽天 未来のつばさ
理事長 野口 修作

2018年度「未来のつばさ」自立奨学支援制度」 楽天生命審査ボランティアの皆様から

子ども達は皆しっかりと将来を考えていて、応援したい気持ちになりました。できれば全員に支援が届けばいいなと思いました。

様々な環境の子ども達の状況に触れ、自身の生活を振り返る貴重な経験になった。

一人一人の抱える問題とそれに向き合う姿に心から応援したいと思いました。わが身を振り返り、不足する自分にも気づかされ、審査させていただくことを、丁寧にいたしました。子ども達の将来が夢の実現であることを信じています。

複雑な環境で育った中でも、夢を持ち、自立するために考えている子ども達がとても多かった。作文を読んでいて心苦しくなることもあった。でも、とてもいい経験になりました。

熱い想いで「夢を叶えたい!」と伝わってくる文章を読んで、自分自身がパワーをもらえたような気持ちになりました。

書き損じはがきによるご寄付ありがとうございました。

書き損じはがき回収キャンペーンにて、たくさんのご寄付誠に有難うございました。2018年度も楽天生命保険代理店の皆様から多くのご支援をいただきました。皆様の継続的なご支援に心より感謝申し上げます。

おかげさまで2名追加支援ができました。

なお、締切日(1月21日)を過ぎてお送りいただきました分および今年度の繰り越しは、来年度の支援分とさせていただきます。

はがき総枚数

10,852枚

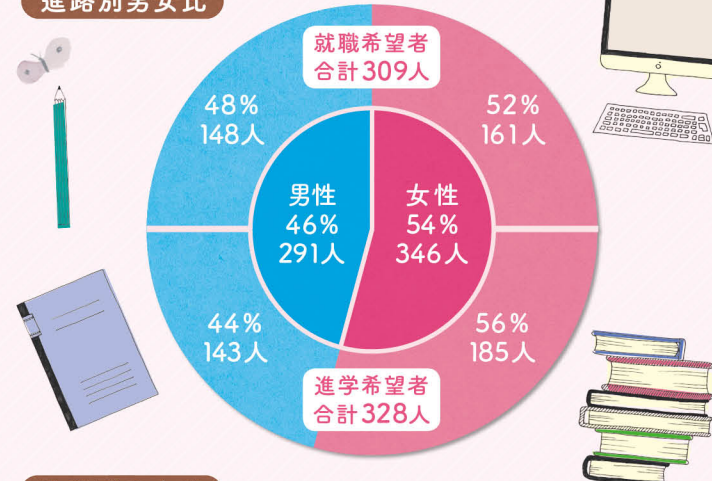
寄付金額

458,000円



応募者について

進路別男女比



進路別出身地

都道府県	人数	進学	就職	都道府県	人数	進学	就職
北海道	37	24	13	滋賀県	3	1	2
青森県	3	0	3	京都府	11	7	4
岩手県	8	2	6	大阪府	50	27	23
宮城県	9	6	3	兵庫県	27	13	14
秋田県	7	2	5	奈良県	7	5	2
山形県	3	2	1	和歌山県	6	3	3
福島県	7	3	4	鳥取県	11	5	6
茨城県	7	4	3	島根県	1	0	1
栃木県	6	3	3	岡山県	13	7	6
群馬県	14	1	13	広島県	15	8	7
埼玉県	19	12	7	山口県	14	7	7
千葉県	11	4	7	徳島県	4	3	1
東京都	71	43	28	香川県	4	3	1
神奈川県	23	17	6	愛媛県	10	6	4
新潟県	6	3	3	高知県	5	0	5
富山県	1	0	1	福岡県	16	9	7
石川県	10	5	5	佐賀県	7	2	5
福井県	6	1	5	長崎県	27	9	18
山梨県	5	3	2	熊本県	21	11	10
長野県	14	6	8	大分県	8	4	4
岐阜県	23	11	12	宮崎県	14	9	5
静岡県	11	7	4	鹿児島県	20	10	10
愛知県	32	12	20	沖縄県	4	3	1
三重県	6	2	4				

進学希望者 325人 就職希望者 312人

合計 637人

2019年度も皆さんを応援いたします!

未来のつばさ自立奨学支援制度の応募要項は2019年9月20日頃ホームページにて掲載します。

メルマガをお読みの方にはいち早く情報をお知らせいたします。



巨大ソフトは夢に消えたけど
どうやらステキな
気持ちみたいだね ツバサくん!

子ども達からの感謝のメッセージ

ご支援ありがとうございました

進学や就職をする、たくさん子ども達を支援することができました。

うございました!

子ども達からも、感謝の手紙が寄せられています。



児童養護施設の職員になりたい!

今回、奨学金を内定していただき
ありがとうございます!!
4月から、短大の保育科に通い私と同じように苦しんでいる子ども達の支えになるような「児童養護施設の職員」になりたいと思います。2年間の大学生活の中で多くのことを学び将来に生かしていこうと思います。今回、頂いた奨学金を上向き有効利用し、子どもによりよい夢を応援する保育士になります。
これから応援よろしくお祈りします!!

感謝の気持ちでいっぱいです!

この度は、奨学金の給付をして頂き、ありがとうございます。たくさんの方々に支えられて今の自分があります。私に携わった全ての人に感謝しています。あたり前のことなどありません。一つ一つ目の前の事に感謝の気持ちでいっぱいです。これから支えられてきた人間から支える事のできる人間になる番です。恩返しをしていきたいです。私は人を支り助けることのできる人になりたいと思っています。これからよろしくお祈り致します。

大学で福祉を学びたい!

この度は私の大学進学に際し、自立奨学資金のご寄付をして頂き誠にありがとうございました。私は将来、児童福祉の職に携わりたいと考えています。子どもへの支援に関心があり、私自身がお世話になりました福祉はまさに子どもに大切なものだとこれまで教えてもらいました。児童相談所のケースワーカーさんやファミリーホームの職員さん等、そして寄付者の方々の様な支援者に私もなるよう大学で学んでまいりたいと思います。最後に、頂きましたご寄付に感謝し、私は将来の夢に向かって努めます。

だれかの支えになり、応援していきたい!

この度は、自立奨学資金の支援をありがとうございます。私は、4月から大学生となり、今より児童養護施設で育ち、これが一人で生活していることになりました。不安もありますが、支えてくださる方々に良い報告ができるように頑張ります。この度は、私に支え、応援する立場になれたらと思います。私に支え、応援する立場になれたらと思います。私に支え、応援する立場になれたらと思います。私に支え、応援する立場になれたらと思います。

自立への一歩を踏み出すことができました!

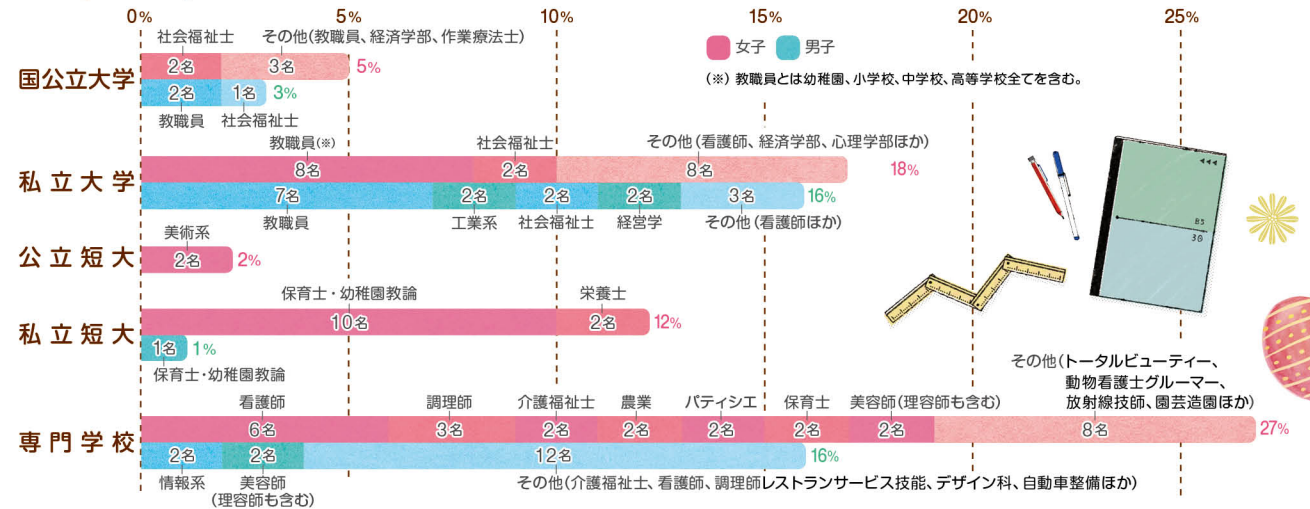
この度は私達の為に沢山の寄付をして頂き本当にありがとうございました。今は、支援決定を頂いた喜びと皆様からの思いが胸一杯です。新年度から社会人として社会で働いていく中で、今はまだ準備段階ではあるものの、ご支援を受けた事で心にゆとりを持ち安心して自立への一歩を踏み出す事が出来ました。社会に巣立ってもこの感謝を忘れず仕事を頑張ります。

小さい頃からの夢、調理師になりたい!

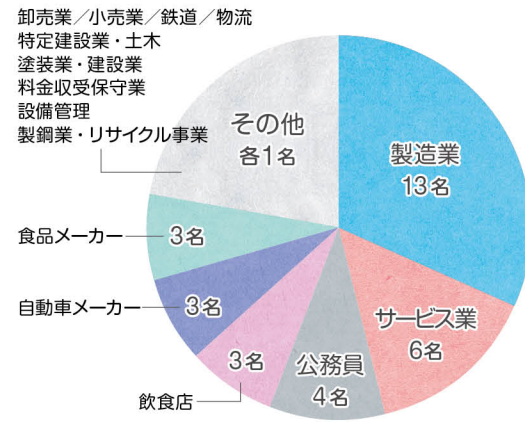
この度は、自立奨学資金を頂くことになり、本当に感謝しています。ありがとうございます。私は調理師になりたいという小さい頃の夢が実現し、食料品の音高校へ通い、希望職種への就職は出来た。沢山の寄付者の方々の応援と感謝を日々生活や仕事にやりがいや楽しさを感じながら、努力を惜まず、精進していきたいです。全国の寄付者の方々に、この様な素晴らしい支援をいただき、本当に感謝申し上げます。皆様からの応援のおかげで、日々努力していきたく、変化への準備も引き続きお願いいたします。本当にありがとうございます。

2018年度「未来のつばさ自立奨学支援制度」支援者について

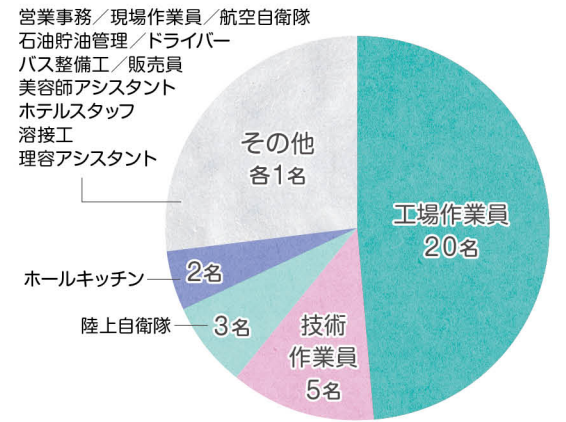
[進学進路先]



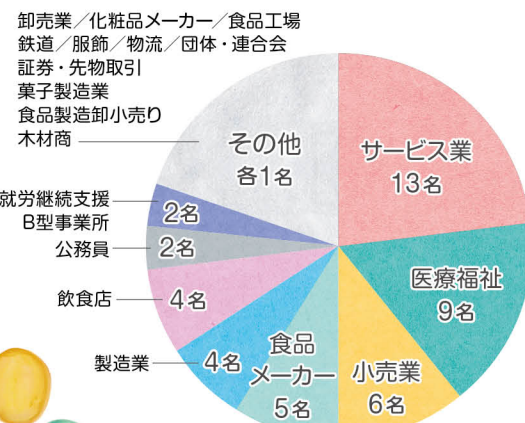
男子 [就職先業種]



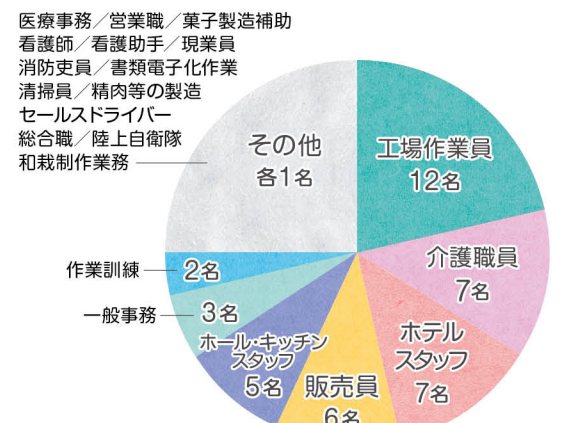
[就職先職種]



女子 [就職先業種]



[就職先職種]



2018年度の支援状況をご報告いたします!

紙面の都合上ご紹介できなかった活動報告を、メールマガジンにて配信中!是非ご購読ください!

2018年度後期支援

後期(9月~10月受付)分の一部の支援状況をご報告いたします。
後期は、1プロジェクトにつき上限30万円の支援、2018年度または2019年度実施プロジェクトが対象でした。

2018年度前期支援

支援先団体から届いた報告を一部ご紹介いたします。

2018年度後期支援プロジェクト一覧

団体名	プロジェクト名
1 SPジャパン	刺しゅうdeボランティア
2 NPO法人 チームレスキュー	子ども学習支援・子ども食堂
3 「生」教育助産師グループ OHANA	児童養護施設での生きる力と心を育む助産師による心の居場所作り
4 一般社団法人 タウンスペースWAKWAK	社会的養護の子どもたちのバックアッププロジェクト -児童養護施設自然体験活動プログラムおよびスタッフ養成研修-

プロジェクトの一部をご紹介します。

社会的養護の子どもたちのバックアッププロジェクト -児童養護施設自然体験活動プログラムおよびスタッフ養成研修-

本プロジェクトでは、児童養護施設に入所している子どもたちを対象にした自然体験活動とその活動に参画するボランティア・スタッフの研修の2本の柱で事業を行っています。
自然体験活動では、子どもたち自らがやりたいと思う事を一杯体験すること、また、その体験をスタッフがマンツーマンで寄り添いサポートすることを目的としています。
ボランティア・スタッフ研修では将来、保育士、学校教員、福祉施設の職員など教育・対人援助職を目指す学生等の次世代育成事業として位置付けています。虐待を始めとする様々な子どもの背景を理解し、未来の子どもたちの利益を守るためでもあると考えます。
過去8年間の実績を踏まえ、これまで連携してきた大学をさらに増やしスタッフ体制が充実されることで子どもたちの参加人数の増加を図ります。 **一般社団法人 タウンスペースWAKWAK**

未来の子どもたちの利益を守るために



刺しゅうdeボランティア

計6回開催し、合計38名の方にご参加いただきました。乳児用のスタイ、お人形に刺しゅうを施しました。参加者からは、「言葉としてだけ知っていた乳児院を身近に感じることができた」、「ボランティアしながら、自分がお人形と遊んでいるようで楽しかった」などの感想をいただき、また、お届けした聖オディリアホーム乳児院からは「一体一体個性があつてどれも可愛い。こんなお人形で遊べる子ども達は幸せです」とのメッセージと、お礼のカードをいただきました。

2019年度も活動を続けていく予定です。ご支援いただきありがとうございました。

ワンポイントの刺繍がとってもかわいい!



SPジャパン

成人を祝う会

一宮学園自立支援はじめのいっぽ後援会

華やかな成人式を迎えることができました!

成人式当日、(株)セブス着付け屋73様のご協力によりヘアメイク着付けを済ませ、町主催の式典に送り届けました。昼食は、Aさんは勤め先の社長さん、Bさんは妹を招待し、育ててくれた職員、当会メンバーと共に膳を囲み、なごやかにお祝いしました。
後日、NPO法人ACHAプロジェクト様のご協力により、写真撮影会を実施しました。19歳で出産されたCさんは赤ちゃんに負担がかかるため成人式当日の参加は諦めてもらいましたが、その代わり撮影会には家族3人で参加できました。Bさんは、看護学校の実習で忙しい月であったので撮影会には参加できませんでしたが大変有意義だったと思います。
人の手によりお化粧を施してもらい、髪を結び、美しい振袖を身に着けることは、心が弾みます。児童養護施設の成人式を応援する団体が増えてきましたが、当会の成人式プロジェクトの特色は、『当日に参加できる』ことです。同級生と遜色なく参加できることは大きな意味を持ちます。お祝いの席で思い出話を花を咲かせると、今までたくさんの人に支えられて育ててもらったということに気づき、プロジェクトが済んで数日たつと、感謝の言葉を届けてくれます。これらすべてが、『明日からまた頑張ろう!』につながっているようです。



里親広報イベント

~写真展「フォスター」を通じて~

地元住民が多く集う商業施設3施設(いこらも〜泉佐野、ららぽーと和泉、イオンモールりんくう泉南)で、里親広報啓発活動を行いました。イベントでは、『写真と言葉でつむぐプロジェクト「フォスター」』にご協力をいただき、里親家庭の写真を展示する「フォスター」を中心に、里親関連の図書展示や、シンポジウム、子ども向けの参加型イベント等を盛り込みました。里親会のロゴ入りティッシュ、うちわ、ボールペン、マスク、風船を配布しました。イベントごとに新規里親登録に着実に繋がられているため、こうした広報活動を続けていくことには大きな意義があると思われます。

大阪府里親会岸和田支部 どんぐり会



すべての子どもに家庭で暮らす機会を!



2019年度後期の申請受付

2019年9月2日(月)~10月31日(木) 必着です。

後期

交付金(上限)
30万円

交付件数
6件

対象事業
当年度または来年度実施プロジェクト

実施要項は、財団ホームページ「団体向け支援事業」ページをご覧ください。申請をご希望の団体は、お電話にて申請案件について詳細をお伺いいたしますので、事務局(03-5642-7890)までお電話ください。

